

公益社団法人 静岡県造園緑化協会

緑の宝



2015
新年号
No.61



南アルプス茶臼岳からの日の出

目次

高林会長挨拶・川勝知事挨拶	2
都市緑化樹木育成講座	3
足立美術館視察研修	5
森の力が再生(県森林計画課)	7
ふれあいイベント、秋の国芸市	9
麻機遊水地 外来種駆除	10
育成管理巡回指導	11
シニアワークプログラム	12
みどりのおたより(県環境ふれあい課)	13
景観賞、表彰者	14
野鳥と木の実	15

新年のご挨拶



公益社団法人
静岡県造緑化協会会長
高林 久雄

新年あけまして、おめでとうございます。
会員の皆様方には、健やかに新年を迎えられ
ましたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の運営にあたりまして
は多大な協力とご支援をいただき、心より厚
くお礼を申し上げます。
振り返りますと、様々な出来事がありにも
多く、また災害も各地に発生し多難な一年であっ



静岡県知事
川勝 平太

明けましておめでとございます。

会員の皆様には、健やかに新年を迎えられた
こととお慶び申し上げます。また、日頃から本
県の緑あふれる豊かな暮らし環境の創造に御尽
力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げ
ます。

昨年三月から六月に掛けて開催した「浜名
湖花博二〇一四「花と緑の祭典」」は、目標の
八十万人を大きく上回る約百三十万人のお客
様にお越しいただき、多くの感動と笑顔、思い
出を残して、大成功を収めました。実行委員会

た昨年でした。被災された方々にお見舞いを申
上げます。

一方、「浜名湖花博二〇一四「花と緑の祭典」」
が開かれ、県内外に花と緑の大切さが力強く発
信され、私も協会もその一翼を担うことがで
きたのではと自負しているところです。皆様方の
ご協力に改めて感謝申し上げます。

今年も私も公益社団法人として、地域にど
んな貢献ができるのか、どのような啓発活動が
必要か、更にそれを通して我々業界が発展して
いく道はどうか、真剣に考え行動していき
たいと考えます。難しい時代大変な目標を持っ
て進む。このことがそれぞれの経営の中で攻め

の一員として御尽力いただいた貴協会の皆様に、
心から感謝申し上げます。

本イベントを契機に、県民の皆様の日々の暮
らしの中に、花や緑を取り入れた豊かな生活様
式が根付くことを期待しています。

一方、都市緑化の進展に伴い、街路樹等など
の適切な保全・管理が大きな課題となつていま
す。こうした状況の中、貴協会では、樹木の管理技
術向上のため、講習会を開催するなど、積極的
に課題解決に向けて取り組まれていると伺って
います。このような社会的問題に対する貴協会の
真摯な取組に対し、深く敬意を表します。

県では、昨年四月に総合計画「富国・有徳の理
想郷「ふじのくに」のグランドデザイン」の「後
期アクションプラン」をスタートさせ、「県民幸
福度」の最大化を目指す「ふじのくに」づくり

の姿勢につながっていくのではないのでしょうか。
厳しいけれど萎縮してはいけません。どうにもなりませ
ん。こういふときこそ組織の力をフルに活用し、
人の知恵を借り力を頼み共に団結して前進しま
しょう。

継続こそ力なり、たゆまぬ種まきを繰り返す
先に実りが見えてくる。そんな一年に会員の皆
様としたいと思ひます。

本年も関係官庁、関係団体の皆様のご指導、
ご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様
のご発展をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせてい
たさします。

の総仕上げに向けて取り組んでいます。

中でも、生活と自然の融合により、県民の皆
様が心豊かで質の高い生活を送るためには、こ
れまで自然とともに人々が生活を営む中で形成
されてきた美しい景観を、背景にある土地の風
土や歴史、文化とともに保全していくことが重
要です。このため、本県では、市町、関係団体、
県民の皆様と連携して、花と緑の空間の保全と
創造を推進してまいります。

こうした施策を進めしていくためには、専門技
術を備えた貴協会のお力添えが必要です。会員
の皆様におかれましては、今後とも御支援、御
協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の
皆様御活躍を心からお祈りし、新年の御挨拶
といたします。

都市緑化樹木育成講座

「平成二十六年度花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第二回講習会」



講師 細野哲央氏

千葉大学大学院園芸学研究科
特任助教 樹木医 細野哲央
慶應義塾大学法学部卒業
千葉大学大学院自然科学研究科
修了

学位論文では「事故実態と法的側面から植栽管理のあり方」を考察した。現在、樹木のリスクマネジメントや植栽管理等に関する調査・研究・講演活動を行っている。

平成二十六年十月二十四日 静岡

市駿河区谷田の県立中央図書館で、静岡県環境ふれあい課との共催により「平成二十六年度花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第二回講習会」を開催しました。

市町の緑化担当、県の施設管理担当、さくら保護士、当協会の会員ら六十七名で、そのうち当協会の会員は二十五名でした。

「倒木・落枝事故から学ぶ街路樹の維持管理」

樹木のリスク管理とは？

自治体は多くの樹木を所有しているのので、限られた予算の中で計画的なリスク管理が求められる。目的はリスクをゼロにすることではなく、受け入れられるレベルまで低減することである。

リスク管理の程度は場所によって異なる。利用頻度の低い山道などはリスクは小さく、利用頻度の高いエリアの幹線道路、交差点、公園等は大きい。

街路樹が原因となった事故の責任の所在

道路管理者が管理している植栽でなくても（民地に生えている樹木）道路管理者は安全を確保する必要がある。道路利用者に危険が生じる位置関係が大事である。



がんしゅ病

樹木の折損・倒伏の可能性は見抜くことができるか？

弱点のある樹木は健全な樹木よりも早く折損・倒伏する。

樹皮の亀裂、がんしゅ、膨らみ等樹木の外観で問題のある木はわかることが多い。

枝葉が茂っていても、根株が空洞化していれば倒れる。

地上からの目視によって、樹木の腐朽・枯れが確認できれば早急な対応が必要。

結果的に樹木内部に腐朽・空洞があっても、直ちにリスク管理に問題ありではない。

一方で、内部に腐朽・空洞が生じている兆候が見られる場合には内部検査を含めたより精密な診断が必要である。

樹木の計画的なリスク管理は可能か？

樹種によってパターンがあり、街路樹の事故ではケヤキの枝落ち事故が多い。事故発生が多い街路樹のケヤキは植栽が古く大木が多い。生長の早いマメ科の樹種は倒伏が多い。プラタナスは葉が大きいいため、風の影響を受けやすく、しかも強い剪定のため、根が張っていないので根がえりが多い。

リスクへの対応

安全性確保と樹木の健全な生育・機能発揮との調和を目指した管理が必要となる。また、樹木の機能に対する管理者・地域住民の理解が必要である。



幹の形状や樹皮の変形により判断できる

樹木の精密診断の手法

レジストグラフ、ぼん太、ドクターウッズ、ピカス音波計測器、ガンマ線腐朽診断機など様々な計測機器が開発されているが、それぞれ一長一短がある。

過剰な安全管理の弊害

過剰な安全管理志向は、究極的には都市から樹木を排除することになる。

法学部出身という異色の樹木医の観点での豊富な裁判事例による講義は迫力があり、受講者も大変、熱心に聞いていました。午後は図書館の庭で木槌や銅棒など様々な器具を用いて、精力的に樹木診断の手法を示してくれました。参加者が普段から感じている危機感に添えてくれた満足度の高い講習会でした。



樹木診断に用いた移植ごとと銅棒



木槌で幹を叩いた音により樹木の異常を見つける



実習の最後には全員でカルテを作成



ぼん太（横打撃共振法）による実技

足立美術館視察研修

平成二十六年十月二十一日から二十二日にかけて、貸し切りバスで当協会の会員十名が島根県安来市にある足立美術館の庭園を視察しました。東名高速の集中工事と重なり、初日は静岡駅を七時三十分に出発、出雲へ着いたのは、十七時三十分を過ぎていました。二日目は松江のホテルから足立美術館に直行。美術館を十二時に出発し、静岡駅に着いたのは二十一時を回っていました。

足立美術館は横山大観などの絵画コレクションも有名ですが、素晴らしい日本庭園があることが大きな特色です。米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」が行っている日本庭園ランキングでは二〇〇三年から十一年連続で日本一に選出されています。「庭そのものの質の高さ」「建物との調和」「利用者への対応」など総合的に判断されたもので、特に細部まで行き届いた維持管理が評価されています。



枯山水庭

枯山水庭は足立美術館の主庭であり、水を用いず山水の趣を表す古来からの伝統的な手法です。遠景、中景、近景の組み合わせを基調に作庭されました。中央築山の大小3つの立石は峻厳なる山を表し、それぞれ形の異なった滝口を持っています。溪流となるイメージする白砂へとそそぎ、やがて大河となる自然を表しています。



白砂青松庭

白砂の海岸に大小の青松がリズムカに配置された横山大観の名作《白砂青松》の持つ清澄なイメージを日本庭園で表現すべく造られた庭です。縦長の敷地を横に広がりを持った景観に見せるため、道を挟んだ河川敷に見越し松を植栽。敷地奥に長く高い築山を築き、中央に滝口を設け、その流れを鑑賞者に最も近い場所となる横広の池まで引いています。石は主に、鳥取の佐治石と四国の青石を使用しています。



苔庭

苔を主体とした京風な雅な庭園です。主庭となる枯山水庭に続く側庭で、簡素な美しさを表現しています。樹木はすべて斜めに植えられています。これは庭師の哲学によるもので、山の斜面に生まれ育った木を平地に持つてきてまっすぐに植えると、樹木にとっては大変な苦痛になるはずだと作庭されたものです。

庭園は面積五万坪にも及び地元出身の実業家足立全康氏が自ら全国を歩いて、庭石や松の木を集めてきたそうです。日本庭園の造園技法のひとつである借景の手法が採られ、彼方の山や木々までも取り込んで織り成す造形美は本当に見事でした。

【参加者の感想】

- ・雨の中、庭石や砂利を濡らし、始まったばかりの紅葉とともに美しさを際立たせていた。
- ・枝葉ひとつ落ちていない徹底した維持管理に驚かされた。
- ・美しさと規模の大きさに圧倒された。
- ・いかに館内から庭園を美しく見せるかに配慮されていた。
- ・名園を保つには管理が大切であることを改めて感じた。
- ・二時間ほどしか見て回れなかった。庭の前でお茶でも飲みながら、ゆっくりとした時間の流れに身をおきたかった。
- ・行きたくてもなかなか機会がなかったのが、今回の企画に感謝する。



寿立庵の庭

寿立庵は京都桂離宮にある松琴亭のおもかげを写して建てられたもので、小堀造州好みのつくりを今に伝えています。



生の額絵

ここから望む庭園は、まるで琳派の屏風絵を想わせるように、四季のうつろい、光の陰影とともに趣を変える一枚の額絵です。



歓迎の庭

ふるさとを誇りに思い続けた足立全康は、足立美術館の創設に迷わずこの地を選びました。



池庭

この池は周囲の庭との対比と洋風の建物との調和を考え、和洋折衷の新しい感覚で造られた池庭です。

「森の力」が回復中！

（県森林局森林計画課）

「森の力再生事業」は、「森林（もり）

づくり県民税」を財源とし、森林所有者による整備が困難で荒廃した森林に対して、間伐などの森林整備を行う事業です。造園業の皆さんの協力も得て「森の力」を持続的に発揮する元氣な森林づくりが進んでいます。

○「森の力」って？

「森林のはたらきと森林づくり県民税の関係」

森林には「山崩れの防止」や「水を蓄える」等の働きがあり、これを「森の力」と呼んでいます。「森の力」は県民生活を支えています。手入れが行き届かない森林は「森の力」が十分発揮されないことから、その回復のための費用として県民の皆さまから、一年間に個人は一人四百円、法人は法人県民税均等割額の5%を「森林づくり県民税」としてご負担いただいております。

○事業の内容は？

「森林づくり県民税でどんなことをしているの？」

事業では、間伐が遅れた人工林や、放置された竹林の手入れ等を行っています。

全体計画は、平成十八年度から十年間で一万二千三百ヘクタールの荒廃森林を九十六億円かけて手入れを進めるもので、二十五年度末までに約九千八百ヘクタール（浜名湖の面積の約一・五倍の大きさ）を整備しました。八年間の進捗率は、八十%で、事業は順調に進んでいます。



整備後の人工林の状況
掛川市倉真地内（田旗造園建設㈱施工）

○事業の特徴は？

「事業者にとつてのメリットは？」

次のような特色があります。

- ①所有者と相談し、事業者が主体となつて事業量や工期を設定し、事業計画を作ることができます。
- ②事業に参入しやすく、要件を満たせば、造園業の方も事業者になれます。
- ③県の標準単価を限度とし、全額補助事業となります。
- ④簡易作業車道等の施工では、土木技術を生かすことができます。

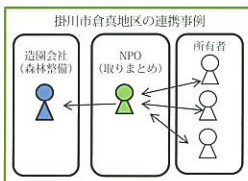
○取組事例

「事業を実施した造園業者」

事例一 地元NPOと連携した取組

田旗造園建設㈱は、掛川市倉真地区において、地元NPOと連携し、六年間で約二百十ヘクタールの森林を一体的に間伐しました。取組に当っては、NPOが地域（所有者）を取りまとめ、造園会社が森林の間伐を実施するという役割分担で進められました。

間伐後は、隣接する所有者からも問合せや要望があり、同社では、さらに周辺地域でも事業を実施していきます。



事例二「集落裏の広葉樹林整備」

例地は、伊東市宇佐美地区において、地元からの要望を受け集落裏の大径化した広葉樹林の間伐を行いました。

現場を担当した立木さんは、「急傾斜の多い山で、大径木の伐採は初めてで不安があったが、最適な伐採方法を考えながら作業しました。間伐して山が明るくなっていくと作業の手応えを感じ、文字通り「森の再生」に携わっているような気がします。」と話してくれました。

○事業の成果

「今はどうなっているの？」

「森の力」の回復状況等のモニタリング調査では、下層植生が生育し、ほぼ全ての現場で順調に回復していることが分かりました。さらに、土壌保全や生物多様性等の機能も向上しているという結果も示されました。

また、外部有識者等で組織する評価委員会から、「適正に執行され効果が期待できる。」との評価を得ています。



人家裏の大径化した広葉樹の伐採
伊東市宇佐美地内（簡植源施工）



下層植生が回復した様子



簡易作業車道の施工



伐採作業

さらに、事業開始からの八年間では、本事業に新規参入した事業者は全事業者の三分の二、計六十者以上もあり、そのうち造園又は建設事業からの参入者は、計二十三者となります。

事業をきっかけに事業者が新規雇用された作業員等は百三十五人で、雇用の創出にも多大な波及効果をもたらしています。

○今後に向けて

事業期間も、残り一年となりましたが、県民の皆様のご理解をいただきながら、着実に一万二千三百ヘクタールの荒廃森林を整備したいと考えておりますので、本事業の推進に引き続きご協力をお願いします。

○お問い合わせ先

静岡県交通基盤部森林局

森林計画課

☎〇五四―三二―二六―三三

又は

各農林事務所 森林整備課まで

森の力再生事業は、始まってから九年目ですが、最近の豪雨災害のニュースを見ていると、まだまだ森林整備の必要性を感じます。また、協会のさらなる新規参入に向け、平成28年度以降も事業を継続して欲しいと思います。（事務局）

建産連ふれあいイベント

平成二十六年十月十八日、静岡市葵区の青葉イベント広場で、静岡県建設産業団体連合会の主催による「まちづくり二〇一四ふれあいイベント」が開催されました。当協会も花苗の無償配布、スタンブラリーの景品として「新街の樹」二百選の提供などを行っていました。



静岡市建設業協会青年部の風船

静岡市建設業協会の青年部が風船を配って、彩りを添えました。当日は、静岡市のお茶まつりが通りを挟んで開催され、朝から盛況でした。十時三十分、十一時三十分、十三時三十分の三回に分けて、花苗を配りました。ガーデンシクラメン、ミニバラが人気でした。



当協会提供の花苗の無料配布

静岡市 秋の園芸市

平成二十六年十月十八日、十九日に東静岡にぎわいゾーンで静岡市花と緑のまちづくり協議会の主催による「秋の園芸市」が開催されました。当協会の中部支部会員も協力し、緑の相談コーナー、赤土プレゼント、花木や果樹、花苗などを販売など多彩な催しが行われていました。赤土プレゼントでは三百人もの行列ができました。



赤土プレゼントに長蛇の列



みどりの相談会



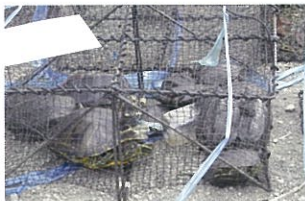
パンフレット配布

麻機遊水地で外来種のカメを駆除

平成二十六年十月四日、静岡市葵区の麻機遊水地での外来種駆除のイベントが麻機自然体験コミュニティBalanceの主催で開催されました。静岡大学教育学部の加藤英明講師の研究室の学生らが事前に仕掛けておいた罠(八十個)で三匹以上のカメを捕獲しました。ほとんどが外来種のミシシippアカミミガメでした。



開会式で説明する加藤先生



罠で捕獲されたカメ

加藤講師ら研究グループは、巴川中流域の麻機遊水地周辺を対象地域に、昨年八月二十一日〜九月六日と、十月七〜十二日にカメの捕獲調査を行い、地元の静岡北中・高の生徒らが調査に協力しました。捕獲した三百八十匹のうち「ミドリガメ」の名称でなじみ深い、外来のミシシippアカミミガメが二百十二匹(55.8%)を占めました。



子供たちも興味津々

比率が最も高かったのは同遊水地北東エリアの「第五工区」で、捕獲四十七匹中の三十七匹(78.7%)に上りました。在来種のニホンシガメはわずか一匹(0.3%)で、在来種に準じるクサガメも百四十八匹(38.9%)にとどまりました。



麻機遊水地に生息する外来種を紹介するパネル

麻機遊水地は、サギ類やカモ類など多くの野鳥やホソバニガナやアカウキクサなど絶滅危惧種も生育する静岡市近郊の貴重な自然ですがミドリガメのほかにもウシガエル、アメリカザリガニ、オオクチバスなど多くの外来生物が生息しています。また、植物でもオオフサモ、ボタンウキクサ、オオキンケイギクなどたくさん見つかっています。

育成管理巡回指導

公益財団法人静岡県グリーンバンクの委託を受けて、当協会は平成二十六年九月二日から九月十八日にかけて延べ八日、東伊豆町から川根本町、浜松市など県内全域で育成管理巡回指導を行いました。

対象は平成二十一年度、二十三年度、二十四年度施工の三十一箇所です。

実施した結果は、良好五、やや良好五、普通十一、やや不良五、不良五箇所でした。

不良箇所の原因としては、土壌が悪い、風害、病虫獣害、除草、灌水不足などがあげられますが、中には管理意識が欠如している施設もありました。植物は生き物ですから適切な管理が欠かせませんが、まったく

やる気がない施設管理者もいて問題です。

今回は巡回指導に立ち会わない悪質と言ってもよい管理者もいて、これは補助金の不正受給と言っても良いのではと思いました。

一方で、緑化に関する研修や講習会を積極的に受け、造園屋さん顔負けと言っても良いくらいに、きめ細

かな管理をしている施設もありました。

また、適切な剪定や病害虫防除の方法がわからなく、困っている管理者もいました。

除草や灌水など職員でもできることがあります。年に一度くらいは専門の業者に見てもらうことが必要だと感じました。



伝法まちづくりセンター



藤枝駅前公園



特別養護ホーム 一本松



静岡空港アクセス道路

シニアワークプログラム

当協会が静岡県シルバー人材センター連合会から委託されている平成二十六年度シニアワークプログラム地域事業を実施しました。

焼津会場は港公民館で講義、港小学校在校生が実技会場でした。九月十六日から開講して、九月二十六日に閉講し、受講生は十一名でした。



剪定の実習

浜松会場は浜松市緑化推進センターが会場で、十月一日が開講で、十月九日に閉講しました。受講生は十四名でした。

函南会場は、函南町のシルバー人材センターが会場でした。十一月五日が開講で、十一月十三日が閉講でした。受講生は十七名でした。



安全作業についての講義

高齢者が長年培ってきた知識・経験及び技能を活かし、地域及び企業のニーズに合わせ、意欲と能力に応じて、労働等を通して社会を支える側に回ることが重要となってきました。

こうした中、シニアワークプログラム事業は、高齢者が魅力ある地域づくりに貢献していくための講習会



古葉ひきの実習

を提供するとともに、講習会最終日に就職相談会（面接会）を開催し、高齢者の雇用・就業支援を行うものです。



修了証の授与

みどりのおたより

県立島田工業高校での芝生緑化について

(静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課)

本誌二〇一四夏号に掲載いただいた、県立島田工業高等学校での芝生緑化の取り組みの続報を御紹介します。

島田工業高校では周辺地域への砂塵対策や健全な教育環境づくりを目的として、今年度から学校グラウンドの全面芝生化に取り組んできました。平成二十六年六月九日(月)に第一期施工として静岡県芝草研究所が研究の一環として用意したポット苗一万个を、さらに七月二十二日(火)には第二期施工として生徒たちにより育てられたポット苗一万个の植栽が行われました。初夏から真夏にかけて生徒たちが汗を流して行った植栽作業と、その後の学校関係者による地道な水やり、芝刈りなどの管理作業により、芝は予想以上の生育状況を見せ、夏休み明けには美しい緑色の芝生地が完成しました。



齊藤氏の挨拶

このような関係者の努力により順調な芝生緑化が行われていることから、この成果のお披露目のため十月二十九日(水)には元サッカー日本代表で現在サッカーJ清水エスパスアンバサダーの齊藤俊秀氏を招き、芝生開きイベントが行われました。

齊藤氏からは島田工業高校の運動部の生徒達に、「この恵まれた環境を当たり前と思わず、自分たちで大切に守り、育てていって欲しい」との挨拶がありました。

この日は、県教育委員会主催の「トップアスリート派遣事業」が行われ、近隣の中学校のサッカー部員を招待してサッカークリニックが開催されました。齊藤氏からは芝の上からできるボールの蹴り分けなどの解説があり、参加した中学生は関近に見る元日本代表選手の技術に感嘆しつつ、美しい芝生の上でトレーニングを行いました。この芝生開きに

は、近隣住民の家庭から小学生の参加もありました。学校による砂塵防止の取り組みが近隣住民の方々にも認識されつつあるということです。

これからも島田工業高校の芝生の維持管理は続きますが、学校関係者や生徒が一体となって美しい芝生緑化環境を維持していくことを期待したいと思います。



サッカークリニック

景観賞審査

その結果、最優秀賞（県知事賞）には「大社の杜 みしま」が選ばれました。

美しいおおか景観推進協議会主催の第七回静岡県景観賞の最終審査が平成二十六年十一月十日にありま

した。

今年は、八十二件の応募があり、そのうち十件について、延べ三日間で現地調査を実施しました。



大社の杜 みしま



静岡ガス本社ビル

優秀賞（美しいおおか景観推進協

議会賞）には次の四箇所が選ばれました。

「静岡ガス本社ビル」

「プラサ ヴェルデ」

「伊豆のバッチ状里山林の風景―歴史的な権茸の森―」

「森ボラが進める伊豆高原の竹林整備と地域交流」

国土交通大臣顕彰

市川造園㈱の平野正勝氏が平成二十六年十月十日、東京都港区のメルパルクホールにおいて開催された優秀施工者国土交通大臣顕彰式典で表彰されました。



平野正勝氏

静岡県知事褒章

平成二十六年九月十九日、静岡県産業経済会館で「平成二十六年度建設産業構造改善推進のつどい」が開催されました。その中で当協会会員の㈱静岡緑地建設の朝比奈均氏が静岡県優秀施工者として表彰されました。



小野田秀頼氏

平成二十六年十月十七日、静岡労働会館にて、建設業労働災害防止協会静岡県支部主催による大会が開催されました。当協会会員の東伊豆町の木村造園㈱の小野田秀頼氏が安全表彰功績賞を受賞されました。

安全表彰功績賞



後列の中央が受賞した朝比奈均氏

野鳥と木の実

庭に植えた覚えはないのにアオキやムクノキなどが生えてくることがあります。これは野鳥が種子を運んでくるからです。

木の実には豊富な糖質や脂を含んでおり、野鳥にとって晩秋から初冬にかけての大切な栄養源です。



クロガネモチとヒレンジャク

植物にとっては分布を広げるために野鳥に果実を食べてもらうことは重要な事です。ヒヨドリのように果肉だけ食べて種子は排泄すればいいのですが、イカルやシメのように種子を消化してしまう鳥もいます。

どんぐりを食べる鳥の代表はカケスですが、カケスとナラ類の世界的な分布は一致していません。カケスはドングリを食べますが、貯食する習性があるため、一部は忘れられて、芽が出るからです。



センダンとムクドリ



センダンとツグミ



カキとメジロ



ハゼノキとエナガ



ヤブウツギとウソ

クロガネモチやガマズミなど赤い実が目立って、鳥たちも好きですが、ネズミモチやクスノキなど黒い実も良く食べられます。

また、ウルシやハゼノキのように茶色で目立たないですが、鳥たちには非常に好まれる実もあります。これは、脂肪分を含んで栄養があるからです。やはり、ナンキンハゼは鰯分があるため、好まれます。

公益社団法人 静岡県造園緑化協会 会員

会 員 名	所 在 地	電 話 番 号	会 員 名	所 在 地	電 話 番 号
咲葉樹園	東伊豆町	0557-23-0648	株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928
木村造園株	東伊豆町	0557-23-1635	株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593
株伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	加藤造園株	焼津市	054-628-3235
株広野園	伊東市	0557-37-3028	原田造園株	焼津市	054-624-2610
株緒源	伊東市	0557-45-0040	良知樹園株	焼津市	054-624-1355
藤原造園株	熱海市	0557-81-4240	南富士昌造園	焼津市	054-624-4007
西村造園株	熱海市	0557-82-7424	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
株武井造園	三島市	0550-960-8139	南樹界園	焼津市	054-624-8941
南伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	南大石造園	藤枝市	054-643-7282
株富士見園	長泉町	055-986-6567	貴樹園	藤枝市	054-641-0161
南正翠園	長泉町	055-986-3199	南太陽造園	藤枝市	054-641-4076
株大綱造園	御殿場市	0550-83-9767	紅林造園	藤枝市	054-635-7256
株植正園	沼津市	055-921-0945	株特種東海フォレスト	吉田市	0547-46-1551
南緑香苑	沼津市	055-931-0408	南岩本造園	吉田町	0548-32-2507
株大志建設	沼津市	055-923-1128	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
株翠石園	富士市	0545-71-2236	株雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
南一翠園	富士市	0545-35-0123	田嶋造園建設株	掛川市	0537-22-5951
株大松園	富士市	0545-52-5220	株植根庭苑	掛川市	0537-24-5577
南常葉園	富士市	0545-35-0163	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
南翠光園	富士市	0545-36-2020	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
株緑宝園	富士市	0545-21-5083	南松月園	森町	0538-48-6431
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	南山本造園	袋井市	0538-48-6592
南やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7894
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	株ハヤテ造園	袋井市	0538-43-4355
株共立	富士市	0545-85-1213	トヨタ緑産株	袋井市	0538-44-0400
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	株庭 仁	磐田市	0538-35-5528
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	株 勘	磐田市	0538-34-3030
株佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
株双葉グリーン	富士宮市	0544-26-3138	南永井造園	磐田市	0538-38-0500
株島園グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
南丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南松島園	磐田市	0538-38-0790
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	南大東園	磐田市	0538-34-4163
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	株東豊グリーンメンテナンス	磐田市	0538-32-0018
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	南昭花園	磐田市	0538-55-3392
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	株江開種苗園	浜松市中区	053-471-1727
不二造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	株庭 明	浜松市中区	053-453-3311
南東海造園	静岡市清水区	054-369-2119	株庭 勘	浜松市中区	053-455-3980
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	みどり園株	浜松市中区	053-456-1165
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	南太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
株森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	株エンター	浜松市中区	053-435-8585
静岡親業株	静岡市葵区	054-261-2094	株大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
南飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	天龍造園建設株	浜松市東区	053-421-1180
株藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	赤庭産業株	浜松市東区	053-434-4332
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	大協造園緑化株	浜松市西区	053-592-4500
株市川造園	静岡市駿河区	054-259-1819	ナイス緑地株	浜松市西区	053-485-4631
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	市川造園株	浜松市南区	053-449-4646
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	大村造園建設株	浜松市北区	053-437-1128
ソーアイ造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	五常園株	浜松市北区	053-587-4838
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	南青重植木	湖西市	053-579-0736

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大規模での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2丁目2番地

TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成27年1月発行

編集 啓発労働委員会

題字 桑松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに 森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる同紙材を資源として活用し、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。